

JA三重厚生連の取組

平成21年度の取組と成果

- ・平成20年度からスタートした特定健診・特定保健指導の取組みに対し、受診者数の減少及び健診精度の維持等、多くの課題が見えてきました。このような状況の下、取り組み課題を再検討し、特定健診の受診者数の拡大と特定保健指導の内容充実を図り、多様化するニーズに対応するため、健康管理活動および保健指導を積極的に実施しました。
- ・健康教育については、JA組合員とその家族及び地域住民に対し、健康講演会や健康相談等に講師を派遣するとともに、地域の集いに出向いての「出前講演」を行ない、健康管理意識啓発および保健予防活動の推進に努めました。
- ・「食育推進事業」については、JA中央会・JA女性部等と連携して食生活に起因する糖尿病・高血圧症・肥満症などの生活習慣病を予防するため、「食の安全と安心」推進活動に支援・協力しました。
- ・受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について啓蒙を行い、院内全面禁煙を実施しました。
- ・「心の健康づくりセミナー」を地域及び職域において実施(県内7会場296人参加)し、メンタルヘルスの普及啓発に努めました。

平成22年度に取り組む数値目標

- ・人間ドック等の検診強化と特定健診及び保健指導を受ける人の増加
- ・二次健診(精密検査)受診率の増加
- ・食生活に起因する糖尿病・高血圧・肥満症等、生活習慣の改善に取り組む人の増加
- ・喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加と病院内全面禁煙の継続
- ・メンタルヘルスケアに関心を持つ人の増加

目標達成に向けた取り組みの内容

- ・人間ドック受診者数と特定健診及び特定保健指導受診者の拡大を図る。
- ・精密検査を受診する必要性を意識づけるため、健診結果説明時に受診勧奨を促す。
- ・健康増進を目的とした健康講話や健康相談等の健康教育活動をより一層強化する。
- ・病院祭の開催、健康フェスタ等への支援・協力を行い、地域と密着した健康管理活動を推進する。
- ・JA等が開催する食育講演会へ講師派遣を行ない健康増進活動の充実を図る。
- ・禁煙に関する啓蒙活動を展開するとともに、病院内全面禁煙を継続する。
- ・地域及び職域において「心の健康づくりセミナー」を開催し、メンタルヘルスケアの推進に努める。